

寿

にこにこ

前原病院 広報誌

発行日 令和2年1月4日

医療法人 慈生会 前原病院

院長 前原 弘江

慈生会の理念

慈愛の心

- 一、すべての人の人生を平等に大切に考えます。
- 一、私達はどんなときにも出会う全ての人に笑顔とやさしい言葉で接します。
- 一、私達は地域との連携を図り、患者様の社会生活を支えます。
- 一、日々新しい知識・技術の習得に努め、自らの成長のためにチャレンジを続けます。
- 一、職務を通して人間力を磨くとともに、多職種で協力し、組織の一員としての役割を果たします。
- 一、笑顔で働きがいのある職場造りに努めます。

謹賀新年



慈生会前原病院
理事長 前原 敬悟

新年明けましておめでとうございます。

2020年の幕開けです。今年は、1964年以来56年ぶりに東京オリンピックが開催される年です。日本の国は、当時「オリンピック景気」「いざなぎ景気」「列島改造景気」など高度成長を遂げて来ました。高度成長の原動力になった当時の働き盛りの若者は、団塊の世代と言われる世代（私はその真っ只中にいます）が70歳以上になります。そして2025年が最も高齢者人口比が高くなると言われています。



慈生会前原病院の外来患者さんの年齢も高齢化が進んでいます。杖を突いたり、車いすで受診されたりする患者さんも増えています。在宅で療養しておられて介護予備軍と思われる高齢者が常になく勢いで増加しています。前原病院では介護予備軍の患者さんに対して2018年地域包括ケア病棟を開設して、入院患者さんの在宅復帰を促す方向に医療方針を強化し始めました。今年は、慈生会介護老人保健施設くつろぎ苑での在宅復帰を推進する方針を強化していこうと考えています。

まず、くつろぎ苑の通所リハビリ（デイケアサービス）を模様替えして再スタートします。短時間3～4時間から7時間まで対応し、リハビリを強化して介護予防を目指し、並行してくつろぎ苑の在宅復帰の促進を図っていこうと考えています。



また、前原病院では昨年開設した地域包括ケア病棟を13床から20床以上に増やしたいと思っております。前原病院の地域包括ケア病棟とくつろぎ苑の在宅促進事業とで地域包括ケアを強化する体制を作りたいと考えます。また、前原病院は手城町に移転以来10年使ったCT装置が古くなったため、最新のCT装置を導入して診断力を強化して診療を支えます。2019年の一字は“令”でした。慈生会の2020年は“挑”と考えています。

新しい年に慈生会は更に地域の皆様のためにお役に立てる病院、老人保健施設に成長するつもりです。よろしくお願いいたします。



慈生会前原病院
院長 前原 弘江

明けましておめでとうございます。

年号が「令和」となった2019年9月、慈生会 前原病院も私が院長に就任し、新たな門出を迎えることとなりました。様々なご縁めぐり合わせにより、比較的急に決まった体制の変換であったため、どうなることかと私自身も少し心配しておりましたが、就任から3か月たち、皆様のご理解とスタッフの支援のおかげもあり、大きな混乱なく、新たなスタートが切れたのではないかと感じております。感謝申し上げます。

さて、2020年、令和2年は東京オリンピックの年ですね。皆様も楽しみにされていることでしょう。われらが広島カープの選手も、年末にうれしいニュースを運んでくれた鈴木誠也選手を始め、何人か出場し、プレミア12のような活躍を見せてくれることでしょう。願わくばその勢いで、ペナントレースの優勝も奪還してほしいものです。

2020年、私たち慈生会前原病院も地域の皆様とともに“one team”として、地域の医療・福祉に貢献できるよう、ますますの発展、成長を目指して邁進してまいりたいと思っております。本年もどうぞ、よろしくお願い申し上げます。



◆11月17日日曜日「第26回福山医学祭」が開催されました。当院は、一般演題・口述発表の部で「ケア計画の多職種間での共有と定期的な見直し」を穴掘看護師が演題発表を行いました。



★11月26日火曜日、3階で「お砂踏み」を開催しました。「お砂踏み」とは：四国八十八カ所霊場各札所の「お砂」をそれぞれ集め、そのお砂を札所と考えて、「お砂」を踏みながらお参りすることです。その御利益は実際に遍路をしたことと同じであるといわれています。様々な理由で四国遍路が出来ない方に、各札所のご住職がお砂踏み一式を皆様の元にお持ちして、お砂踏みを体験して頂けるよう企画して実行されています。屏風には、各札所の御本尊様が描かれています。



★12月12日木曜日「クリスマス会」を行いました。3階「ハートベルホスピス」では、スタッフによるバルーンアート、ハンドベルシスターズ with トナカイのハンドベルの演奏が行われ、盛り上がりました。その後「中川しのぶ」先生がクリスマスと冬に因んだ「おめでとうクリスマス」「きよしこの夜」「ジングルベル」「たき火」「雪やこんこ」等を素敵な歌声と演奏で披露して下さいました。その中で一番喝采を浴びたのは、古口 Dr.と看護師による「赤鼻のトナカイ」でした。患者様、ご家族、スタッフも一足早いクリスマスを楽しんだ時を過ごしました。



☆12月17日火曜日、慈生会の忘年会を行いました。インドネシアからの介護実習生も参加し、スタッフ間の交流を深め、一年の互いの労を労いました。



笑顔がとっても
キュートな3人♡



～お知らせ～

※毎週月曜日 10時から(祝祭日は除く)無料のリハビリ教室を行います。

☆予防接種は、予約制となっております。

☆健康診断は随時。

☆前原病院人間ドックは、ご希望に合わせてメニューを組み合わせることができますので、ご相談下さい。

☆特定健康診査、乳癌検診、福山市がん検診(胃がん、肺がん、大腸がん)実施医療機関です。

前原病院

1日平均外来患者数：42人

令和1年11月現在

の概要

平均入院日数：療養病棟 147日、地域包括病棟 31日、緩和ケア病棟 22日

1日平均入院患者数：療養病床 30人、地域包括病床 12人、緩和ケア病床 12人

内科・胃腸科・放射線科・緩和ケア内科・リハビリテーション科
慈生会 前原病院

※福山市手城町一丁目 3-41 TEL(084) 925-1086 FAX(084) 923-4504

診療受付時間

午前 8:30~12:30 / 午後 15:00~17:30
※木・土曜日午後、日曜日、祝祭日は、休診です。



<バスでお越しの方>

中国バス：鋼管方面行き

バス停「千間土手西」下車、南へ徒歩3分

<車でお越しの方>

国道2号線を岡山方面へ進み、

「千間土手西」交差点を右折

☆多編集後記☆多

一月は睦月とも呼ばれます。それは、睦びし親しむ月という意味で、年の始まりを家族仲良く、笑顔で暮らせることで、きっと素晴らしい一年を過ごせると願いを込めたそうです。

広報誌編集部一同

